

第 2 期保健事業実施計画（データヘルス計画）～概要版～（案）

第 I 章 保健事業実施計画の策定（基本的事項）

▶ 計画策定の目的

生活習慣病の重症化の予防及び心身機能の低下防止を図ることにより、高齢者ができるだけ長く自立した日常生活を送ることができるよう、「健康寿命の延伸」を目指し策定します。

▶ 計画期間

平成 30 年度から平成 35 年度（2023 年度）までの 6 年間とし、平成 32 年度（2020 年度）に中間評価及び見直しを行います。

第 II 章 岩手県の高齢者の状況

▶ 岩手県後期高齢者医療広域連合の概要

平成 29 年 4 月現在、県内 33 市町村で構成され、被保険者は 213,213 人です。

▶ 岩手県の高齢者の動向

64 歳以下人口の著しい減少により総人口は減少していますが、65 歳以上人口は増加し、高齢化率は上昇しています。今後も同様の傾向が続く見通しです。

本県の高齢化率は、全国予測値の 10 年先と等しく、全国よりも早く高齢化が進行しています。

平成 29 年 10 月現在の高齢化率：31.9%

▶ 平均寿命と健康寿命

男性は、平均寿命及び健康寿命とも全国平均よりも低くなっています。

女性は、平均寿命は全国平均よりも高く、健康寿命が全国平均とほぼ同等です。女性は男性に比べ長生きですが、「不健康な期間」を長く過ごしていることとなります。

第 III 章 医療費と疾病の状況

▶ 医療費

被保険者一人当たりの医療費は、全国平均よりも低い水準で推移しています。平成 28 年度の全国順位では、新潟県に次ぎ第 2 位の低さとなっています。

▶ 医療費と疾病状況

被保険者の約 75%が生活習慣病を発症しており、うち約 73%が高血圧症を保有しています。脳血管疾患を発症した者のうち、約 80%が高血圧症を保有しています。

高血圧症は、医療費に占める割合が最も高く、次いで慢性腎不全（透析あり）、脳梗塞、糖尿病が上位を占めています。

人工透析対象者数は、被保険者全体の 0.4%と低いものの、医療費では第 2 位と高く、一人当たり医療費の高さが際立っています。

第 IV 章 これまでの取り組みと評価及び課題

▶ 第 1 期計画での取り組みについての評価

総合的には、保健事業が目指す方向の明確化や未実施事業への着手により、第 2 期計画への事業充実に向けた基盤が整えられたと評価します。具体的には、8 事業の取り組みを行い、8 項目について評価を行いました。（別表 1）

▶ 課題

健診結果を活用した事業の実施及び健診事後指導等について、市町村との共通認識のもと事業内容の充実と向上に向けた取り組みが必要です。

【別表 1】

取り組み	評価指標	現状値	目標値	評価
後期高齢者健診	受診率（%）：現状値は H29 年度見込値	44.5	45.0	未達成
歯科健診	受診率（%）：現状値は H29 年度見込値	11.0	16.0	未達成
健康教育	生活習慣病の重症化予防（実施市町村数）	24	2	達成
	心身機能の低下防止（実施市町村数）	19	3	達成
健康相談	高齢者一般の健康相談（実施市町村数）	33	33	達成
保健指導	受診勧奨及び重症化予防（実施市町村数）	21	26	未達成
	健康状態未把握者への指導（実施市町村数）	4	6	未達成
	重複・頻回受診者への指導（実施市町村数）	1	8	未達成

第V章 保健事業の目指すべき方向と目標値

目指すべき方向として次の目標を掲出し取り組みます。

- **全体目標** 健康寿命の延伸（日常生活の制限のない期間の延伸）（別表 2-1）
- **重点目標**（別表 2-2）
 - ◆生活習慣病の重症化の予防
 - ①脳血管疾患のり患者の減少を図ります。
 - ②糖尿病の悪化による糖尿病性腎症を防ぎ人工透析への移行を防止します。
 - ◆心身機能の低下防止
 - ①低栄養状態にある者の改善を図り、フレイル(虚弱)への移行を防止します。
- 事業ごとの目標値** 7事業について評価指標及び目標値を設定しました。（別表 2-3）

【別表 2-1】

指標	現状値（平成 25 年）		目標値（平成 35 年度）
健康寿命の延伸（年）	男性	健康寿命 70.68 年／平均寿命 79.63 年	平均寿命の増加分を上回る 健康寿命の増加
	女性	健康寿命 74.46 年／平均寿命 87.62 年	

【別表 2-2】

指標	現状値	目標値（平成 35 年度）
脳血管疾患有病者の割合の減少（％）	20.0％（平成 29 年 5 月）	現状値より減少
75 歳以上の新規人工透析導入者数の減少（人）	189 人（平成 28 年度）	現状値より減少
低体重の者の割合の減少（％）	6.5％（平成 28 年度健診）	現状値より減少

※目標値は、中間評価で実績評価を行い、具体的な数値の設定や見直しを行います。

【別表 2-3】

事業名	評価指標	現状値	目標値
後期高齢者健康診査事業	健診受診率（％）	44.5％ （平成 29 年度見込）	50.0％
	受診勧奨判定値のうち重症度の高いレベルにある医療未受診者の医療受診率（％）	15.5％	21.5％
歯科健康診査事業	歯科健診受診率（％）	11.0％ （平成 29 年度見込）	17.0％
長寿・健康増進事業	事業実施市町村数（実数）	14 市町村	33 市町村
健康増進啓発事業	実施回数	年 1 回	年 1 回
重複・頻回受診者、重複投薬者等訪問指導事業	重複・頻回受診指導実施市町村数（実数）	1 市町村	4 市町村
	重複・多剤投薬指導対象者数（人）	200 人	減少
糖尿病性腎症重症化予防事業	医療機関未受診者の受診勧奨後の医療機関受診率（％）	5.3％ （平成 28 年度）	70.0％
	75 歳以上の新規人工透析導入者数の減少	189 人 （平成 28 年度）	現状値より 減少
低栄養改善訪問指導事業	訪問指導の実施により体重が 1 kg 以上増加した者の割合（％）	30％ （平成 29 年度見込）	50％

※目標値は、中間評価で実績評価を行い、具体的な数値の設定や見直しを行います

第VI章 保健事業計画

別表 2-3 の事業について、事業の概要や取り組みの方向性及び広域連合と構成市町村の役割を明記しました。

第VII章 その他

➤ **計画の公表** 広域連合ホームページに掲載し公表します。

➤ **運用上の留意点**

- (1) 事業の目的等市町村との共有を図り、協力体制で実施します。
- (2) 計画にかかる助言・指導は若手県及び医師会等の団体に依頼します。
- (3) 計画の推進にあたり、市町村の保健事業担当者等を対象とした説明会を開催します。
- (4) 事業の実施にあたり取り扱う個人情報については、個人情報の保護に関する条例に基づき留意の上取り扱います。